



## いばらき未来基金 NEWS!

いばらき未来基金は、茨城の未来をつくり、生活を支え、地域のつながりを育む様々な市民活動と、応援したい市民や企業などをつなぐ、茨城のための市民コミュニティ基金。この基金をより一層みなさまに知っていただくために、いばらき未来基金についての最新情報をお届けします。

### 平成29年度冠助成「積水化成品基金」助成が決定しました！！



いばらき未来基金は、2016年度より新たな冠助成事業として、積水化成品工業 株式会社様と連携し、「積水化成品基金」をスタートさせました。

同社は茨城県県西地域の古河市や境町にグループ会社を設置しており、県西地域で社員参加型の生物多様性をテーマとした、モデル的な環境保全活動への助成を希望。この活動を継続、また広げていくために、未来基金と連携し助成団体を募集しました。

2016年度に引き続き、2017年度も「NPO 法人こが里山を守る会」への助成が決定しました。活動内容は、2ページでご紹介しています。

## いばらき未来基金 冠助成とは？

個人、団体、企業から一定の金額以上の寄付や信託があった場合に、寄付者の意向に沿った冠助成プログラムを、いばらき未来基金が企画運営します。

「社会に貢献する活動をしたいけれど、どのように始めたらよいかわからない」というみなさまのために、企業名をつけた冠助成や、地域の商店街で地域の団体を支える冠基金など、個人の意思、団体の意向、企業の理念に沿った活動をオーダーメイドでご提案します。

あなたの想いを冠助成という形で実現しませんか？

### 冠助成の実績

花王ハートポケットクラブ	2013年から	累計 18件	250万円
積水化成品工業株式会社	2016年から	累計 2件	40万円

## 2017年度 積水化成品工業の冠助成「積水化成品基金」レポート

20万円

### ○NPO 法人こが里山を守る会

地元の通称「ごみ山」を何とかしようと、2007年に立ち上げた団体。およそ11ヘクタールの敷地の整備の他、地元の幼稚園生～中学生をフィールドに招き、植樹などの活動を行っています。

取材日は、社員16名と、NPO法人こが里山を守る会のメンバーが合同で、里山の整備に取り組みました。

「自分達は環境にいい製品づくりに取り組んでいるのだから、まずは自分達が自然保護活動に関わってみる必要がある」また、「継続した活動にしたいので、自社だけでなく、コモンズさんと一緒に取り組めたらと思った」とのお話。CSR（企業の社会的責任）はもちろんのこと、活動に取り組む社員みなさんの「きれいになれば嬉しい」、「地域の役に立てれば」という純粋な思いが伝わってくる、冠助成ならではの活動でした。



## 2017年度 花王・ハートポケット倶楽部冠助成 地域助成決定!!!

いばらき未来基金は、2013年度より花王・ハートポケット倶楽部と連携して、冠助成事業に取り組んでいます。これは、花王グループ社員による社会的支援を目的とした「ハートポケット倶楽部」会員の皆様のご寄付を原資としています。

茨城県内の課題解決に取り組む市民団体に助成を行っており、今年度は、以下の2団体に助成が決定しました。

団体名：NPO 法人グランドワーク笠間

活動名：空き店舗活用による「小さなお店」7店舗の新規立ち上げ

活動場所：笠間市

地域の居場所づくり助成  
25万円

「笠間芸術の森公園」に隣接（対面）した好立地条件にも関わらず、全25店舗中数件の空き店舗がある「笠間民芸の里」。この空き店舗を一扫し、“あつまり/まじわり/つながる”をキーワードに、多世代交流のコミュニティを構築します。



団体名：きらきらスペース

活動名：子ども食堂うしくっ子Sun

活動場所：牛久市

ネットワーク形成助成  
25万円

子どもと親の孤立化である『弧育で』を何とかしようと、ひとり親家庭、生活保護、準要保護者に、温かい食事の提供と学習支援を行っています。



## 活動取材してきました！

コモンズインターン  
古山みのり&鈴音(2歳)

前号でご紹介しました、「いばらき未来基金第2回テーマ助成」。助成された5団体のうち、若草ふるさとアカデミーと、にこにこ食堂の活動取材してきました。



### ○若草ふるさとアカデミー (小美玉市) 事業名：未来をひらくふるさと塾

小美玉市江戸住宅の自治会員が主となり、子ども達の育成や保護者の支援を目的に、10数年にわたって無償塾と野外活動を続けています。取材日は、霞ヶ浦の水を農業用水として引いている溜め池での魚とり。このような活動を通し、子ども達の成長を助け、支援することで、若い世代の社会参加を促し、地域の活動全体を活性化させることを目的とした事業です。

【写真↑】一見危険そうですが、子ども達はしっかり自分の身を守りながら、必死に魚を捕まえようとしていました。  
【写真→】子ども達は、講師と一緒に「何がどれくらい捕れたか」をきちんと調査します。高学年になると、近くの水路やため池の水質調査まで行います。

活動の担当者、浜田さんは、80歳。見た目も動きも、信じられないくらいお若い！

そして、講師として塾や野外活動に参加している菊地さんは、昔浜田さんに川遊びを教わったいわば生徒さん。このように人材の育成にも長期的視野で取り組んでいるところが、この活動に注目するポイントだと思います。子ども達にとって信頼できる人がいる。自分を認めてくれる居場所がある。そんなふうには地域の人たちから必要とされる活動だと感じました。

### ○茨城保健生協 にこにこ食堂 (水戸市)

2016年7月に設立した子ども食堂。水戸市子ども課・近隣小学校に宣伝と協力を依頼し、食材は「JA水戸」に申し入れを行い、寄付でいただいた野菜を使用しています。毎月第1・3土曜日に開催している他、夏休みなどは学校が無いため回数を増やして活動しています。毎回20名を超えるボランティアの方が参加しているそうで、地域課題に対する問題意識の高さがうかがえます。

貧困家庭の子ども達へのアプローチが課題ですが、水戸市内で月2回の活動を行っているのは、にこにこ食堂だけ。現状の定期的な活動と、スタッフのみなさんの笑顔を継続することが、今後には必ずつながっていくと感じました。



食べにきていた子ども達は、礼儀正しく後片付けまで。心のこもった食事に、自然と感謝の気持ちが芽生えます。

この日のメインはロールキャベツ。野菜たっぷりの汁物と、米粉の麺を使ったサラダもおいしかったです。我が家の子ども達もたっぷりいただきました。ごちそうさまでした。



子ども 100円 同伴親 100円で提供中です♪

## いばらき未来基金運営委員のご紹介



人は概して良いことよりも悪いことのほうを強く印象深く覚えている性質があるそうです。そのためか、振り返ってみると悪いニュースの方が思い出されます。例えば、異常気象による災害や震災復興に関する問題、格差問題やいじめ問題、少子高齢化や将来の年金問題など枚挙にいとまがありません。これらの問題を一挙に解決することは難しいのかもしれませんが、時間をかけて少しずつなら、変えることは可能です。私たちは、「いばらき未来基金」が社会の課題解決に向けた一つの選択肢であると考えています。特に、未来を担う子どもたちの可能性をこれからも応援していただけることを期待しています。

常陽銀行地域協創部次長 小松崎 光一

一緒に！

## いばらき未来基金 これからの取り組み

### 遺贈寄付アドバイザー研修を実施しました！



**遺贈とは**、遺言によって遺産の全部、または一部を無償、あるいは一定の負担を付して相続人や相続人以外の人に受け継ぐことです。相続人がいない方や、遺産の一部を地域活動に使ってもらいたい、という方のご遺志を適切な団体にマッチングするために、いばらき未来基金では遺贈の相談窓口を設置しました。

遺言や相続税の対応など、専門家のサポートも必要になりますので、まずは遺贈寄付アドバイザー研修を行いました。研修では、全国レガシーギフト協会の理事で、税理士の脇坂誠也さんを講師にお招きし、税理士、公認会計士、弁護士、行政書士などの士業の方を対象に、今後増えてくるとされる遺贈寄付について学びました。

参加者からは、遺産相続の対応は経験してきたが、寄付という行為はあまり例が無かった。遺言者、相続人、双方にメリットがあることがわかり、もっと広めていこうと思うという感想も伺うことができました。

11月17日（金）には、遺贈寄付を受けとる可能性があるNPO団体向けの研修も行います。また2018年2月には遺贈寄付に関するイベントを開催します。遺贈寄付に関する取り組みに注目ください。

遺贈に関するご相談はホームページをご覧ください  
<http://ibaraki-mirai.org/bequest.html>

2017年11月18日 遺贈研修会（NPO向け）開催  
2017年12月10日 常総空き家改修プロジェクト公募締め切り  
2017年12月 寄付月間  
2017年2月 遺贈寄付キャンペーンイベント

寄付つき商品が広がっています。  
12月は寄付月間です。寄付つき商品や乾杯チャリティーなど企画をお待ちしています！

#### 《実施中の寄付つき商品》

- ◆常総水害に基づく防災セット Aセット 2万円（税抜）商品売上のうち2千円が寄付。Bセット 1万円（税抜）商品売上のうち千円が寄付。
- ◆英単語カレンダーほか 生活協同組合 パルスシステム茨城と認定NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所のご協力により、1冊1,200（税込）の商品売上のうち、333円が寄付。
- ◆チャリティリサイクルプログラム（12月よりスタート）  
買い取り価格ゼロの中古車や、タブレット端末などの不用品を引き取り、リサイクルをして手数料を引いた収益をいばらき未来基金テーマ2：「未来世代と持続可能性」に寄付するプログラムです
- ◆乾杯チャリティー  
ひたちなか市商店街にて開催予定

Aセット 2万円（税抜）のうち2000円が寄付になります



いばらき未来基金

